

2020-4-12

ふじさわ・九条の会ニュース

No.60



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 吉塚晴夫 090-7949-9854

HP(ホームページ) <http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

検索「ふじさわ・九条の会」でも開けます。

日本国憲法 第二章 戦争の放棄

第九条 ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

安倍9条改憲NO! 新しい署名で再スタート

「改憲発議に反対する全国緊急署名」

「ふじさわ・九条の会」は2020年2月27日の世話人会議で、「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」の呼びかけに応じて、新しい署名「改憲発議に反対する全国緊急署名」に取り組むことをきめました。けれども新型コロナウイルス問題で街頭署名は以前のように活発に取り組めないのが、賛同者のみなさまにご協力をお願いする次第です。(今回新署名用紙と返信用封筒を同封しています。)

「ふじさわ・九条の会」と3000万署名

2017年5月3日、安倍首相は突然「新たに憲法9条に自衛隊の存在をかきこむ」「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。この発言を受けて、改憲の動きが強まりました。

これを機に「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」が結成され、3000万署名が提起されました。「ふじさわ・九条の会」では、一橋大学名誉教授の渡辺治さんの緊急学習会を開催し、具体的取り組みについて話し合い、署名の目標を6000筆としました。

署名は2018年5月には地域九条の会の協力も得て6000筆の目標を達成し、2020年3月13日に中央に送付した署名で12000筆を超えました。



3000万署名から「改憲発議に反対・・・」の新しい署名へ

上記のように、2017年5月3日、安倍首相は「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。しかし、2020年4月現在、改憲の動きは安倍首相の思った通りには進んでいません。このことを確認しておきたいと思います。これは、3000万署名運動をはじめとする市民運動と、その市民の声に応えた立憲野党共闘の前進の成果であるといえます。私たちは、先の参議院議員選挙では、かろうじてではありますが、改憲勢力に3分の2を許しませんでした。立憲野党共闘に揺らぎが起きなければ、安倍首相は改憲発議ができないのです。

しかし、独裁政治ともいえる政治の私物化に突き進む安倍首相は何をやるかわかりません。安倍首相は国会に諮ることなく、自衛隊を中東海域に派兵してしまいました。その安倍首相が今年の年頭記者会見からことあるごとに改憲発言を繰り返しています。そして、施政方針演説では「改憲案を示すのは国会議員の責任だ」などと強弁し、憲法審査会への介入さえも口にしています。

こうした政治状況の中で、「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」も中央の「九条の会」も新しい「改憲発議に反対する全国緊急署名」に取り組もうと訴えています。「ふじさわ・九条の会」もこの訴えに応じて新しい署名に取り組むことを決めたのです。

(斎藤隆夫)

中学校

教科書採択

今年の夏が正念場

藤沢の中学生により良い教科書を手渡すチャンスです

育鵬(いくほう)社の歴史・公民教科書を手渡して9年目

藤沢市は「核兵器廃絶平和都市宣言」(1982年)を行い、「核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」(1995年)を持つまちです。この藤沢市で2011年、2015年、2019年と育鵬社の歴史、公民の教科書が採択されています。2011年・15年の採択時に現場の教員は、明確に「育鵬社NO!」の意向を示しましたが、採択には全く反映されませんでした。

育鵬社教科書は何が問題なのか — ドキュメンタリー番組が描き出した育鵬社の問題点

2017年夏に大阪毎日放送(MBS)で放映された「教育と愛国」という番組の中で育鵬社歴史教科書執筆者の中心、伊藤隆東大名誉教授は「歴史から何を学ぶべきですか?」という問いに「学ぶ必要はない。」と答えています。さらに「育鵬社の教科書が目指すものは?」という問いに「ちゃんとした日本人を作るってことでしょうかね。」「ちゃんとした日本人というのとは?」という重ねての問いに「左翼でない、昔からの伝統を引き継いできた日本人」「いまの反政府のかなりの部分は左翼」「反日と言っていいかもしれませんね。」と答えています。育鵬社の歴史の教科書は、「歴史を学ぶ“のではなく、国家に従順な「ちゃんとした日本人」を育てることが目的だと述べているのです。



先生方は困っている—アンケートから

MBS「教育と愛国」から 育鵬社の代表執筆者
(2017年放送) 伊藤 隆 東大名誉教授

昨年3月に公表した藤沢市内19の中学校の社会科の先生方のアンケートでは、使いにくい! /構成、配列、資料、登場人物の選択・・・どれも困っている! /独特の考え方の押し付けに疑問等々、先生方の困っている様子が浮かび上がりました。「入試に不利」、考える力が育たないなどの指摘も多数あり、育鵬社の教科書が、藤沢の子どもたちの学ぶ権利をどれだけ侵害しているのかを痛感させられます。アンケートの全文は「藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会(藤沢とりくむ会)」のホームページをご覧ください。

藤沢市の教科書採択は改善されてきている!!

2017年以降、藤沢市の採択で資料の可視化が画期的に進んでいます。具体的には、教科用図書調査書(中学校が作成する資料、観点別に付した〇の一覧/選択理由のコメント一覧作成)、教科用図書採択審議委員会答申(教科書会社別編集)、教科書展示会の市民意見(パソコン入力・冊子化)などですべて公開されています。また教育長が採択の教育委員会で「私も、実際に教科書を使う先生方が使いやすく、そして教えやすい教科書であることが、子どもたちの学びにおいて大変大切な視点であると考えております。— 中略 — 各学校長から提出された「教科用図書調査書」につきましては、今お話したような視点から、私は内容を拝見し、尊重してまいりたいと考えております」と、現場の意向尊重を明確に発言しています。

署名に協力してください

教科書を選ぶに当たっては、教科の専門家であり、生徒のことを一番よく知る現場の先生方と保護者の意見が尊重されるべきだという要望書の賛同署名を、今年も集めます。一名でも多くの方に署名していただき藤沢市教育委員会に届けたいと思います。署名は「みんなの教育・ふじさわネット」(090-9959-6398松本)と「藤沢とりくむ会」(090-2165-4038樋浦)で協力して行います。ご協力いただける方は、お問い合わせください。

教科書展示会に参加して「市民意見」を書いてください

教科書展示会は、6月半ばに藤沢市役所内(予定)、また市内19の中学校(学校ごとに日程が異なります。各中学校2日程度)で行われます。展示会に参加をして、「先生方の意見を尊重すべき」「育鵬社のここが問題」など「市民意見」を書いてください。提出したすべての意見が採択の資料となります。展示会の日程は分かり次第、藤沢とりくむ会のホームページでお知らせします。また藤沢とりくむ会では展示会に向けた出前学習会を行います。ぜひ、企画してください。

これから市民にできること。要望書の賛同署名を多数集める、教科書展示会で多数の市民意見をあげる、採択の教育委員会の傍聴です。今年の夏の「育鵬社NO!」実現に向けて、まさに正念場です。

(樋浦敬子 藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会)

署名用紙を同封します。改憲発議反対署名の返信用封筒に、一緒に入れて下さい。お願いします。

新型コロナウイルス 先が見えない不安いっぱいの日々、子ども達は今 (小柳 倫子)

校庭には人っ子ひとりいない。校舎もシーン。あの日、3月2日からもう1ヶ月がすぎます。

2月最後の日、私は近所の子達の下校に出会いました。学期末のように両手いっぱいの荷物。作り途中の工作や塗り残しのある絵など丁寧に丸める時間もなかったのでしょう。現場の混乱が目に見えるようです。「先生も君たちも心配だね」と言うのと「うん。これからどうなるか、先生もわからないって」と、不安そうな様子でした。明日から夏休みというときの楽しい休日に胸膨らませていた時とは全く逆の顔をしていました。

新型コロナウイルスの感染の早さや怖さと同時に、休校、公共施設の閉館はパニックでした。現在も私の所属している新婦人の人たちから様々な声が寄せられています。その一部を紹介します。

- ①中3と小3の子どもがいます。友だちとの楽しい時間が無くなり、下の子は気持ちが不安定になり、ちょっとしたことで泣いてしまいます。
- ②親は仕事を休めず、頼れる人もいないので子どもだけの留守番はとても不安です。
- ③体を動かすのが大好きな子で習い事もすべてスポーツ。可愛そうでたまりません。
- ④学童に勤務しています。学童クラブはスペースが狭く、子どもたちのトラブルが増えています。普通教室を使わせてもらいたいです。狭い部屋で過ごさせるより1人で自宅のほうが感染しないと考え、やむなく休ませている家庭もあります。
- ⑤学校には保健室があり、保健の先生がいる。何かあるとすぐ見てくれて必要な時は、保護者に連絡してくれます。給食もきちんと食べ、健康管理は安心です。
- ⑥「手洗い・うがい・換気」など学校では友だちや先生と一緒にやるので子どもが予防を考え、学ぶ機会があります。1日も早い開校を願います。
- ⑦勉強は家庭では教えられない。復習なら何とかできるけど学校でも習ってないところは教えられず、親子でイライラ。なんとかしてほしいです。
- ⑧学校の校庭や教室を開放して自由に使わせてほしいです。

3月9日 新日本婦人の会藤沢支部では、これらを10項目の要望にまとめ市長と市教育委員会に「藤沢市立小学校・中学校一律臨時休業に関する要望」として届けました。

国の責任で検査、治療、生活保障を 新型コロナウイルスは地球規模に拡がり、報道は対策より「怖さ」を前面に。全学校休校、休業を余儀なくされた業者など混乱や不安で溢れ、「コロナ鬱」になる人が出るほどです。

個々の体調管理はもちろんですが、国の責任で国民の命と健康を守ってほしいです。感染を防ぐには、「閉じ込める」だけでなく、心配ならすぐ検査できる体制を最優先につくり、同時に国民の生活保障をしてほしいです。

神奈川・安保法制違憲訴訟への期待

(鴨志田直紀)

去る3月13日、東京地裁で「自衛隊出動差止め等請求」訴訟の原告敗訴判決が出ました。昨年11月7日の「国家賠償請求」訴訟判決に続く不当判決です。原告は控訴の意思を表明しました(国家賠償請求の方は控訴済み)。原告と弁護団は、判決後、直ちに声明を発表し記者会見を開きました

(<http://anpoiken.jp/2020/03/13/seimei-2/>)。記者会見の動画もあります。

日本の違憲訴訟の“壁” 私は、日本の違憲訴訟には“壁”があると考えています。日本では、実際に被害を受けた人が、その賠償などを求めて裁判を起こした場合に、付随的に違憲審査が行われることになっています(付随的違憲審査制度)。コスタリカのような違憲訴訟は提起できません(最高裁判例)。ですから、裁判所が原告の実害(具体的な権利侵害)を認めなければ、「原告としての適格性を満たしていない」として門前払いし、憲法判断を回避することが

できるわけです。〈原告適格を認められない→憲法判断する必要もない〉という理屈です。裁判所にとって、原告適格を認めないことが違憲審査回避の最大の防波堤なのです。けれども、11月7日の東京地裁判決を読むと、屁理屈もいよいよ成り立たなくなっていることがわかります(紙幅がないので具体的な内容は別の機会に)。

神奈川違憲訴訟への期待 私たちとしては、この“壁”を突破して裁判所に違憲審査をさせることが第一の課題になっているわけです。神奈川でも、ニュース前号で島田啓子さんが書かれているように、具体的な権利侵害を提示してきました。横浜地裁は、東京とは違って、原告の陳述のみならず、証人尋問も(被告=国の反対を抑えて)実施してきたので、原告団・弁護団は裁判官の訴訟指揮については一定の評価をしています。むろん裁判の帰趨(最高裁まで!)は予断を許しません。

裁判官にも、司法の独立を賭けた闘いだという自覚を期待したいのです。 横浜地裁の次回公判は4月16日の予定。新型コロナ対策で傍聴席を減らすなどの対応をしているところ実施されることになっています。



第12回口頭弁論・本人尋問 4月16日(木)13:30開廷

12:30 横浜地裁正面玄関集合

(13:10頃、抽選があります)

横浜地方裁判所

101号法廷

報告集会 期日終了後

横浜YWCA

3階ホール



山田詠美「つみびと」(中央公論新社)を読む

10年前の夏に大阪で、自宅マンションに (吉塚晴夫)

シングルマザーが2歳と3歳の子供を置き去りにして餓死させた事件があった。この事件の経緯を描いた杉山春の「ルポ虐待 大阪二児置き去り死事件」(ちくま新書)という優れたルポルタージュがある。恐らく山田詠美はこの事件とルポに触発されるように、想像力を駆使して「つみびと」を書いたのだ。二児を放置して死に至らしめた若い母親HとHの母親であるKを登場させて、その意識に入り込む。二人の女は、またその母親(祖母)もDVを受け、逃れられない暴力にさらされていた。その家族史の連続の中で二児は飢えと暑さの中で死んでいった。山田の想像力は子どもの意識にも入り込み、二人の子どもの短い人生を、その思考を追跡していく。小説でこそ可能なことだ。幼い子どもが、閉じ込められた部屋で、飢えと暑熱に苦しみながら母親を求め、母親とのつかの間の記憶を思い返す章を読むことは辛い。山田の力量恐るべしと思うのだが、一方でこの小説世界に没入していく自分に、立ち止まらなければいけない、という意識が私の中に生まれる。この先に救済はあるのだろうか。

母親Kが自分の娘であるHの裁判経過を見つめながら、深い後悔と遣る瀬無さにさいなまれ、その苦しさを話すことのできる唯一の人、パン屋を営む初老の男性、この男性に話しをし、聞いてもらうことに少しのやすらぎがある。しかし二児は死に自分の娘は刑務所にいる中で、これは山田が提示したせめてもの救いなのだろうか。

幼児の親、継父による虐待死が連鎖するように起こる。周りの者は児相は学校は教師は何故止められなかったのか、後になってみればSOSは発信されており、責任の追及が始まりそして謝罪が何度も繰り返される。現場は人手が足りず予算は一向に増えない。生徒が自殺した後になってから、第三者委員会がいじめに対する学校の認識と対応が不十分であったとの指摘をする。

こういう事が何度も繰り返される。しかし教員や児相の増員は行われまいだろう。今の政権は死にゆく子供たちと家族の生死に全く関心がない。格差や貧困の是正を政治の課題とせず、放置することを政治の目的としているようだ。

「アウシュビッツ後の人間は最早守られなくなってしまった存在である。私たちは生きているのではない。生き残っているに過ぎないのだ。」(G・スタイナー) アウシュビッツ以前と以後で、世界は同じではなくなってしまった。

2011年3月11日、福島原発の爆発事故以前と以後で、私たちは同じように生きることは出来なくなった。放射能汚染の中で生きざるを得ない私たち、高度に汚染された故郷に帰還を強いられる人々、チェルノブイリの数十倍の汚染食料を食べさせられる私たち、再稼働を着々と進める政権。こういう異常が日常化した日本で家族自体が崩壊しつつあるのではないのか。家族の絆を壊すなどという自民の議員たち、だが疾うに日本の家族は崩壊しているのではないのか。



沖縄からの報告・久保博夫

**安和セメント港からの土砂を半減させるには、
6月7日 県議選で勝たないと！！**

安倍政権は1年たっても1%の土砂しか入れられないことに焦り、運搬船を10隻近くに、土砂を大量に送り出せるように3月で安和港の半分の棧橋の許可が切れるのを延長しようとしています。4月3日に行ってきましたが、安和のダンプを二方向から入れ、今のうちに大量の土砂を運ぼうとしています！

辺野古工事で一番大きな、大浦湾のマヨネーズ土壌では許可された工法では工事ができません。デニー知事の権限があれば、大浦湾側での工事変更はできません(変更申請を県が許可しないとして裁判所に国が訴える戦略と思われる＝司法は安倍政権を忖度する?)！

南西諸島で自衛隊の対中国の基地強化拡大！

すでに与那国島は監視部隊が駐留し、家族を含めた有権者の増で村役場や議会は保守派が圧倒！攻防中の宮古島は市長の関係ゴルフ場を国が買い取り、官舎だけでなく弾薬まで持ち込みましたが、東京新聞の望月記者が告発し、島外に戻しました。今は公海の宮古水道側の保良地区に弾薬庫の建設を進めようとしています！？もう一つの接戦は石垣島、アセスを避けて昨年の3月に着工しながら工事は進めず、島民の半数近くの署名での住民投票を潰すため、基本条例を廃止しようとしたことが、公明党にまで反対されました！？しかし、私有地を売却する件は公明党も賛成して通り、工事が進もうとしています、住民はリコールの準備を始めています。

**県議選挙で4議席逆転されると自民党等の野党が過半数となり沖縄県議会がデニー知事を揺さぶり、土砂の県条例の改悪もできます！？
沖縄県議選勝利を、衆院選勝利につなげよう！
コロナで人は行けなくてもカンパが一番！**

〈お知らせ〉

- 1) 5月23日(土)映画「新聞記者」上映会は中止。
- 2) 5月8日(金)当会の総会(全体集会)は、今後の状況を見ながら判断します。
- 3) 毎月の9の日行動と3日の「アベ政治を許さない」の街頭行動も状況を見ながら判断します。上記2)と3)のお報せはメーリングリスト及びHPで発信し、電話(吉塚)でも対応します。
- 4) 署名用紙は、恐れ入りますが、封筒に84円切手を貼って返信をお願いします。